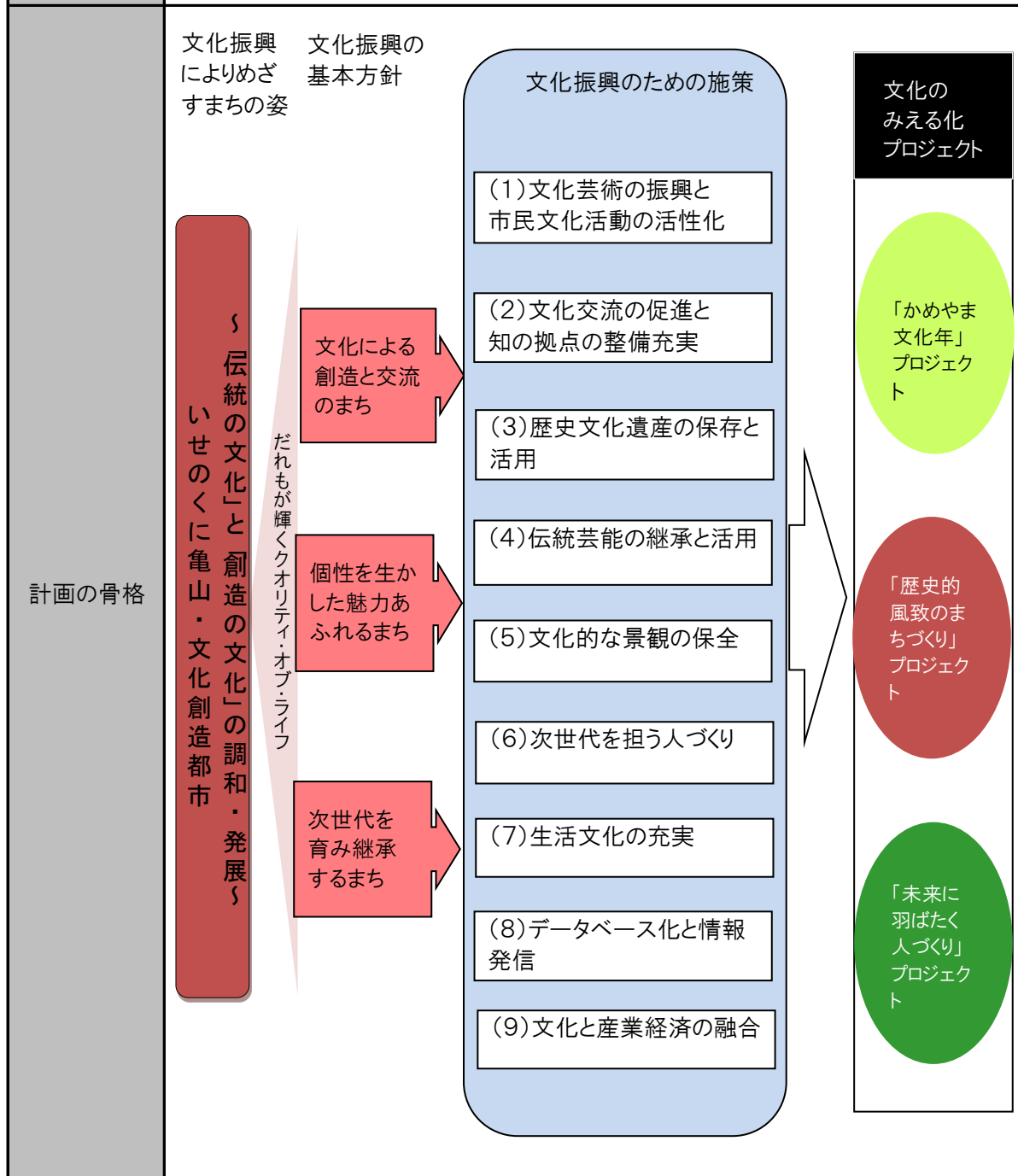


亀山市文化振興ビジョンに関する実績等報告書(令和3年度)

(市民文化部 文化課)

■計画の基本情報

計画期間	H 23 ~ R 3 年度
位置付け	本ビジョンは、地域の特性に応じた文化芸術に関する施策の推進を図るため、文化施策の方向性を体系化して示した文化施策分野にかかる計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「文化芸術の振興と文化交流の促進」と深く関わるものである。
目的・概要	すべての人が文化によって心豊かな生活を営むことができ、幸福を実感することができるまちづくりが求められている。本ビジョンは、これまで培われてきた伝統の文化を継承・発展させ、さらに磨きをかけることにより、それらの輝きが個性を持ちながらも、調和し、高め合い、魅力ある文化を創造していくよう取組を進めるものである。



■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R3)	目標値
1	なし				
2					
3					
4					
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>令和2年度に実施した「かめやま文化年2020」の記念誌の作成と検証を行った。さらに、公募による5部門の市美術展や市民俳句会などを実施した。市美術展では、名誉市民の中村晋也氏の作品展示を行った。</p> <p>また、文化芸術活動の拠点である文化会館について、長寿命化と利便性の向上を図るため、大ホール緞帳子子紐取替工事、雑幕取替工事、土間タイル修繕工事、リハーサル室2空調機修繕工事を実施した。</p>
成果	<p>「かめやま文化年2020」の記念誌を作成し、関係機関に配布することで、文化芸術活動や文化交流の成果を広く市民に知ってもらい、参加した市民の自己実現に寄与した。</p> <p>一方で、「かめやま文化年2020」の検証では、新たなかめやま文化年事業を検討するうえで重要な材料となる課題を洗い出した。</p> <p>また、市美術展や俳句会を実施し、日ごろの活動の成果を発表できる機会や、優れた芸術作品を鑑賞できる機会を設けることで、市民の活動意欲の向上や、活発な創作活動に寄与した。</p> <p>文化会館の修繕工事では、施設の利用状況等も考慮しながら、指定管理者と連携しながら計画的に実施し、利用者の安全の確保につながった。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>市、文化会館、文化関係団体等が協力して文化芸術活動の成果発表の機会や文化に触れる機会を設けることで、文化の振興と団体間や地域間、世代間の交流が図られ、文化芸術活動の活性化に繋がった。また、文化会館との連携によるアウトリーチ活動や参加・育成型の文化芸術事業を通じて、将来、文化芸術を支える人材の育成・確保と文化芸術活動の活性化につながった。また、文化芸術活動の拠点として文化会館を計画的に整備し、市民の施設利用を促進した。</p>
反省点・課題	<p>文化会館の指定管理者や文化関係団体と連携を図り、文化に触れる機会を充実し、文化芸術活動を担う人材の育成や交流の促進が必要である。また、積極的に文化に関する情報を収集し、発信する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>令和3年度をもって本ビジョンは期間満了となったため、今後は、令和3年度に新たに策定した文化芸術推進基本計画によって、本市の文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。</p>

(1) 文化芸術の振興と市民文化活動の活性化

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①文化芸術の振興	文化芸術に関する広報啓発活動の充実	文化創造G		市内で開催される文化に関する行事やイベントの開催内容や、国・県からの情報を広く周知する。	市内で開催される文化に関する行事やイベントの開催内容や、国・県からの情報をホームページ等を通じて広く周知した。	引き続き文化に関する情報を広く周知していく。
	文化芸術に関する講演会などの開催	文化創造G		文化関係団体と連携し、文化芸術の振興につながる講演会等を開催していく。	文化関係団体と連携し、コロナ禍であったものの、市美術展の最終日に美術に関する講座を開催した。	会員の減少の課題解決に向け、文化関係団体を支援していく必要がある。
	文化芸術に関する講座、教室の充実	社会教育G	亀山市立中央公民館	【中央公民館講座における芸術文化講座】 水引～伝統とアートへ、テッサン上手になるう、デジタル一眼レフカメラ、はじめてのウクレレ、オカリナの第一歩、音楽散歩、モザイクアート、新しい切り絵 等 【中央公民館講座における地域の歴史に関する講座】 サンデーストーリー 【かめやま人キャンパスにおける地域の歴史に関する講座】 まちの歴史人養成講座	中央公民館において、サンデーストーリーや教養講座、各々での出前文化講座などで、文化芸術や地域の歴史に関する講座を実施した。	中央公民館とかめやま人キャンパスの役割を明確にしながら、文化芸術や地域の歴史に関する講座を継続的に実施していく必要がある。
	参加体験型の文化芸術事業の推進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館の自主文化事業として、参加・育成型の文化芸術事業、またアウトリーチを継続するよう支援する。	文化会館の自主文化事業として、参加・育成型の文化芸術事業、またアウトリーチを継続するよう支援した。(自主文化事業21件、独自事業4件)	アウトリーチの参加者の増加に向け、PRしていく必要がある。
②優れた文化芸術に触れる機会の提供	さまざまな年齢層に配慮した、多様なジャンルの文化芸術事業の推進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館の自主文化事業として、多様なジャンルの文化芸術事業を継続するよう実施する。	文化会館の自主文化事業として、多様なジャンルの文化芸術事業を実施するよう指示・支援した。(クラシック音楽、演歌、子ども向け催し物、コンサート、映画など)	文化会館の自主文化事業として、多様なジャンルの文化芸術事業を実施することを支援する必要がある。
	文化芸術公演などにおける手話、字幕などの整備促進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館の自主文化事業として、手話や字幕を活かした事業など多様なジャンルの文化芸術事業を実施する。	文化会館の自主文化事業の内容に応じ、手話や字幕などの実施を指示、可能な限り実施した。	文化会館の自主文化事業として、多様なジャンルの文化芸術事業を実施することを支援していく必要がある。
	学校や福祉施設などにおけるアウトリーチ活動の推進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館の自主文化事業として、小中学校における発声、合唱指導などのアウトリーチ活動を継続するよう指示・支援する。	文化会館の自主文化事業として、小中学校における発声、合唱指導などのアウトリーチ活動を継続するよう指示・支援した。(自主文化事業21件、独自事業4件)	アウトリーチの参加者の増加に向け、アウトリーチ活動を積極的に実施する必要がある。
	県や周辺市町の文化施設などとの連携による文化芸術鑑賞機会の提供	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館と県や周辺市町の文化施設などと連携して、自主文化事業の内容を充実させるとともに、優れた文化芸術を鑑賞できる機会の提供に努める。	文化会館と県や周辺市町の文化施設などと連携して、自主文化事業の内容を充実させるとともに、優れた文化芸術を鑑賞できる機会の提供として、新日本フィルハーモニーとの協働事業を開催した。	文化会館と県や周辺市町の文化施設などと連携して、自主文化事業の内容を充実させるとともに、優れた文化芸術を鑑賞できる機会の提供が必要がある。
③文化芸術活動の成果を発表する機会の提供	市民文化祭や生涯学習フェスティバルなどへの参加の促進	文化創造G	亀山市芸術文化協会・亀山市地域社会振興会	各団体の祭典への支援の継続を行う。	芸術文化協会主催の芸文祭はコロナ禍で中止となったものの市民俳句会などの発表の機会が提供できた。	会員数、団体数の減少による参加者の減少について団体とともに検討していく必要がある。
	亀山市美術展などの充実	文化創造G	亀山市立中央公民館	会場開催以外での発表方法を検討しながら、令和2年度に作成された作品と令和3年度に作成される作品の合同展示を実施する。	学びの成果発表の場として、公民館講座成果展示を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、成果展示は行わなかった。	学びの成果還元が地域文化の向上につながるという視点から継続的な実施が必要である。しかし、今後も新型コロナウイルスの感染が続くようであれば、会場での開催以外での発表方法を検討する必要がある。
		文化創造G		日頃の活動の成果を発表できる機会として、市美術展を開催していく。また、審査、展示等については段階的に改善に取り組む。	日頃の活動の成果を発表できる機会として、市美術展を開催した。また、作品講評はコロナ禍により出来なかったが、審査、展示等については段階的に改善に取り組んだ。	今後も成果発表機会の提供に努める必要がある。
④文化団体、文化ボランティアなどの育成と活動支援	亀山市芸術文化協会との連携強化と活動への支援	文化創造G	亀山市芸術文化協会	亀山市芸術文化協会と連携して、市民の文化活動の成果発表の場として芸文祭の支援をする。	コロナ禍により芸文祭の開催ができなかった。	亀山市芸術文化協会と連携して、市民の文化活動の成果発表の場を設ける必要がある。
	市民の自主企画による展覧会や音楽会、文学などの発表活動への支援	文化創造G		芸文祭をはじめ、俳句大会などの市民の発表活動への支援をする。	市民俳句会では亀山俳句会とともに一般の部と学生の部でそれぞれ賞を選定し、句集を配布した。	市民の文化活動を支援していく必要がある。
	継続して特色ある文化活動を行なっている団体への支援	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	亀山トリエンナーレの開催に向けて支援を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止により亀山トリエンナーレ2021は翌年度に延期となった。	現代アートの祭典として、延期となった亀山トリエンナーレの支援をしていく必要がある。
	文化芸術事業の企画運営や市民の文化芸術活動をサポートする、文化ボランティアの育成と活用	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館を拠点として活動している団体に声を掛け、催し物受付などのボランティア登録者を増やし、その育成と活動支援を行う。	文化会館を拠点として活動している団体に声を掛け、催し物受付などのボランティア登録者を増やし、その育成と活動支援を行った。	文化会館を拠点として活動している団体に声を掛け、催し物受付などのボランティア登録者を増やし、その育成と活動支援を行う必要がある。

(1) 文化芸術の振興と市民文化活動の活性化

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
⑤文化芸術を担う人材の育成	文化芸術活動に功績のあった人材を顕彰する制度の創設	文化創造G		顕彰制度について、条例・計画の会議の中で検討を行う。	教育委員会の表彰制度の表彰対象に文化に関連する分野を設けた。	教育委員会と連携し、表彰対象者をくまなく選考していく必要がある。
	文化芸術活動を支える人材の育成	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	今後も文化芸術を支える人材育成を進めるため、文化会館の自主文化事業として、アウトリーチ活動や市民参加型事業を実施するよう継続支援していく。	文化芸術を支える人材育成を進めるため、文化会館の自主文化事業として、アウトリーチ活動や市民参加型事業を実施した。(自主文化事業21件、独自事業4件)	今後も文化芸術を支える人材育成を進めるため、文化会館の自主文化事業として、アウトリーチ活動や市民参加型事業を実施するよう継続支援する必要がある。
	芸術家に市内に滞在してもらい、創作活動の場を提供するアーティスト・イン・レジデンスの検討	文化創造G		本年に延期となった亀山トリエンナーレ2021実行委員会の支援をする。	亀山トリエンナーレ2021実行委員会への財政支援を行った。(事業は2022年に延期となった)	現代アートの祭典として、亀山トリエンナーレ2022実行委員会への支援をしていく必要がある。
	生涯学習人材バンクの普及と活用	社会教育G	亀山市立中央公民館	市内保育園・幼稚園・認定こども園への人材バンク活用支援を継続するとともに、市内社会教育団体等への普及を図っていく。	講師謝金の一部を補助する形で、市内保育園・幼稚園・認定こども園の活用を促進している。新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染症対策徹底のうえ、令和3年度は2園で講座を実施した。	市内保育園・幼稚園・認定こども園に留まらない、市内各種団体等の利用促進のための情報発信に取り組む必要がある。
⑥スポーツ文化の振興	スポーツ文化に関する情報提供の充実	スポーツ推進G		スポーツの重要性を市民に認識してもらえるよう、イベントや各種教室、スポーツ関係団体の紹介など、様々なスポーツ情報を提供する。	イベントや各種教室の開催について、市広報やホームページ等で情報提供を行った。	スポーツの重要性を市民に認識してもらえるよう、引き続き、情報提供を行う必要がある。
	総合型地域スポーツクラブへの支援	スポーツ推進G		たれもが、いつでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むことのできる総合型地域スポーツクラブの活動が活性化するよう助言を行う。	事業の広報支援や会員募集等を行った。	地域でのスポーツ環境を整備するため、引き続き、総合型地域スポーツクラブに対する支援が必要である。
	スポーツ事業と文化事業のコラボレーションの検討	スポーツ推進G		スポーツ事業と文化事業が融合できる機会を検討する。	オリンピック聖火リレーにおいて、重要伝統的建造物群保存地区である関宿の魅力を発信することができた。	スポーツと文化が融合可能な事業を検討する必要がある。

(2) 文化交流の促進と知の拠点の整備充実

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①世代間交流の促進	地域の伝統行事や学校行事などを活用した、文化を通じた世代間交流の促進	文化創造G	亀山市芸術文化協会	亀山市文化会館のアウトリーチ事業等で地域や学校を巻き込んだ世代間交流を目指す。	亀山市文化会館のアウトリーチ事業等で世代間交流を促進できた。(自主文化事業21件、独自事業4件)	今後も世代間交流できる場の提供を検討する。
		教育支援G	地区コミュニティ	各学校において学校行事や地域交流等の機会を利用し、地域人材を活用した地域の伝統芸能や技術等を学びながら、地域の人との交流を図る。	コロナ禍において、中止となった行事や交流が多くなったが、紙すき、墨づくりなどの地域の技術を学ぶなど交流を図ることができた。	感染症拡大防止に努めながら、コロナ禍においても地域の人と交流できるよう創意工夫する必要がある。
	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館と協力し、子どもから高齢者まで参加できて世代間交流が図れる事業を継続して展開していく。	文化会館と協力し、子供から高齢者まで参加できて世代間交流が図れる事業を継続して展開した。	文化会館と協力し、子供から高齢者まで参加できて世代間交流が図れる事業を継続して展開していく。	
	社会教育G	亀山市立中央公民館	実施可否については、情勢を鑑み判断するものの、それと同時に柔軟な運営に向けて、これまでの内容の見直し、新規企画の検討を進める。	子どもたちの様々な体験や世代間交流を進める「サマーキャンプ」については、新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、中止した。	今後も継続して実施していくため、様々な状況を想定した柔軟な運営方法について検討していく必要がある。	
②地域間交流の促進	周辺市町及び関連市町との連携による、市民レベルの文化交流機会の充実	文化創造G		伊賀市、甲賀市、亀山市の「いこか連携プロジェクト」の一環として美術展の相互展示を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	伊賀市、甲賀市、亀山市の「いこか連携プロジェクト」の一環として、美術展の相互展示を実施するとともに、情報交換を積極的に行う。
		政策調整G		市民同士の交流促進を図るため、令和4年度の日本武尊・白鳥伝説三市交流事業の開催に向け三市での協議を行う。 【開催日】詳細未定(令和4年度開催) 【場所】亀山市内 【内容】詳細未定	令和4年度の日本武尊・白鳥伝説三市交流事業の開催に向け三市での協議を行い、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた事業案を検討した。	新型コロナウイルスの感染状況について、他市の状況も考慮しながら、三市交流事業を実施する。
	文化創造G	亀山市芸術文化協会	知の拠点となる文化会館や、文化団体交流の中心的役割を担っている亀山市芸術文化協会の芸文祭などの取組みを支援していく。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、芸文祭は中止となった。	知の拠点となる文化会館や、文化団体交流の中心的役割を担っている亀山市芸術文化協会の芸文祭などの取組みを支援していく。	
③国際交流の促進	外国人住民が日本語を習得できる機会の確保と、やさしい日本語によるコミュニケーションの普及	人権・ダイバーシティG	はじめのいっぽ	今回の経験を活かしながら、日本語教室開催団体と連携して、日本語学習ツールを活用する等、日本語学習の機会の提供方法を検討する。 12言語に対応した外国人相談窓口を市民活動団体と協力し市民に周知して緊急時などにも情報が遅滞なく伝わるよう努める。	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、日本語教室を開催するため、関係団体と綿密に話し合いの上、11月～12月に日本語教室を開催したことで、今後の日本語学習の提供方法に関するノウハウの蓄積が出来た。また、多言語への対応策として、引き続きやさしい日本語の普及に努めるとともに、12言語に対応した外国人相談窓口の周知を行い普及に努めた。	亀山市の外国人人口は増加し、多国籍化が進んでいるため、日本語学習機会を確保する必要があるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらないことから、亀山日本語教室の開催が難航しており授業方法などを検討する必要がある。 やさしい日本語の普及や多言語対応体制が整い、多くの外国人に対して対応できる体制は整いつつあるが、それらをさらに利活用していただくよう、在住外国人への周知・啓発が必要である。
	外国人住民に対する情報提供の充実と、まちづくりへの積極的な参加の促進	人権・ダイバーシティG		研修・講座の開催方法等を検討し、やさしい日本語の学習機会の充実と努めていく。	研修・講座については、例年より規模を縮小したうえで開催し、やさしい日本語の学習機会の充実と努めた。	市内の外国人増加が見込まれるため、日常生活における相談やイベントなどで外国人と接する機会が増えることから、やさしい日本語の普及が求められる。
		図書館		かめやまニュースへの図書紹介を継続実施する。また、外国語書籍も意識して購入する。	年3回、かめやまニュースに図書の紹介などを行った。 外国語書籍を11冊購入した。	外国語書籍のニーズ把握や書籍の流通情報の収集に努め、外国語書籍も意識して購入する。

(2) 文化交流の促進と知の拠点の整備充実

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
④知の拠点の整備充実	文化施設の計画的な整備とそれぞれのコンセプトに応じた機能の充実	文化創造G		文化会館雑幕類交換及び緞帳チチ紐取替修繕工事を実施する。	文化会館雑幕類交換及び緞帳チチ紐取替修繕工事を実施した。	ひび割れなどの改修や、ワイヤレスマイク設備の取替等、必要な整備を行い機能の充実を進める。
	文化施設におけるバリアフリー化の推進	文化創造G		亀山市都市マスタープランに基づき、文化会館・亀山市中央コミュニティセンターのバリアフリー化について検討する。	現時点で、文化会館・亀山市中央コミュニティセンターのバリアフリー化に関する具体的な取り組みは実施していない。	亀山市都市マスタープランに基づき、文化会館・亀山市中央コミュニティセンターのバリアフリー化を検討する必要がある。
	文化施設の事業運営への市民参画の促進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館が設置する運営委員会への市民参加を促進する。	芸術文化協会や文化芸術団体の代表者が参加し、意見を聞く機会となった。	文化会館が設置する運営委員会への市民参加を促進する必要がある。
⑤身近な文化芸術活動の場の提供	コミュニティセンターをはじめ公共施設の有効活用による、文化芸術の場の拡大	文化創造G		文化会館を活動の場として有効活用できるよう、施設管理者と連携しながら、引き続き市民や文化団体にPRする。	文化会館を活動の場として有効活用できるよう、施設管理者と連携しながら、引き続き市民や文化団体にホームページを通じてPRした。	文化会館を活動の場として有効活用できるよう、施設管理者と連携しながら、引き続き市民や文化団体にPRする必要がある。
	学校施設の開放や空き家などの活用の検討	文化創造G		身近な文化芸術活動の場として、空き家などの活用について引き続き検討する。今年開催予定の「かめやまトリエンナーレ」事業を支援する。	「かめやまトリエンナーレ2021」にて、身近な文化芸術活動の場として、空き家などの活用について検討したが、2022年に延期となった。	身近な文化芸術活動の場として、空き家などの活用について引き続き検討する。今年度開催の「かめやまトリエンナーレ2022」を支援する。
	公共施設におけるアトリーススペースの提供	文化創造G		公共施設におけるアトリース活動が実施できるよう、継続して周知を図る。	ホームページを通じて、公共施設等の利用をPRした。	公共施設におけるアトリース活動が実施できるよう、継続して周知を図る必要がある。
⑥知の拠点のネットワークづくり	文化施設間における情報の共有化と事業連携の促進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	市内の文化施設がより多くの市民に利用してもらえるよう、相互の施設間の情報共有及び連携を促進する。	他施設で事業の広報物を配架し、情報共有に努めた。	市内の文化施設がより多くの市民に利用してもらえるよう、相互の施設間の情報共有及び連携を促進する必要がある。
	県や近隣市町の文化施設との広域連携や機能分担の促進	文化創造G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館と県や周辺市町の文化施設などが連携して、自主文化事業の内容の充実を図るとともに、広域的な情報交換を進める。	各施設との情報共有に努めたものの、「いこか連携」が中止となり、広域的な連携が十分にできなかった。	文化会館と県や周辺市町の文化施設などが連携して、自主文化事業の内容の充実を図るとともに、広域的な情報交換を進める必要がある。

(3) 歴史文化遺産の保存と活用

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①文化財などの適切な保存及び活用	文化財などの保存・継承に携わる専門職員の育成	まちなみ文化財G	歴史博物館	文化庁へ職員1名を研修派遣。各種研修会への参加を継続する。	文化庁へ職員1名を研修派遣し、各種研修会へ参加した。	引き続き文化庁へ職員を研修派遣。各種研修会への参加を継続する。派遣した職員を関係部署に配属し、研修成果を現場へ還元する。
	文化財などの保存状況の定期的な点検の実施と、必要に応じて修復を行なうなど保存の推進	まちなみ文化財G		適宜文化財パトロールを実施するとともに、所有者等の相談に応じる。	警報発令後に、職員による文化財パトロールを実施した。	文化財所有者等への支援を拡充するため、さまざまな文化財分類に応じた職員の専門的知識の習得が必要である。
	歴史文化遺産保全活用推進員（ハリテージマネージャー）の育成	まちなみ文化財G	NPO法人亀山文化資産研究会	研修会へ講師を派遣するとともに、協働して事業を行う。	関宿伝建地区内で協働して修理現場公開事業を行った。	活動支援を行うとともに、引き続き活動の場を提供することが必要である。
②歴史的なまちなみの保存	東海道関宿の重要伝統的建造物群保存地区における適切な保存修理・修景の推進	まちなみ文化財G	NPO法人亀山文化資産研究会	事業を実施するとともに、安定した財源の確保に努める。	伝統的建造物群保存修理修景事業を実施した。	計画的な事業の推進、継続が必要である。
	亀山宿、坂下宿、坂本棚田など歴史的なまちなみ、文化的な景観の保存・整備の推進	まちなみ文化財G	都市計画G	引き続き整備した旧佐野家住宅の公開活用について、地元まちづくり協議会等と活用内容等について協議する。	整備した旧佐野家住宅の公開活用を行い、地元まちづくり協議会と活用内容等について協議した。	整備した歴史的建造物の公開活用等について、引き続き関係部署との協議を行う。
		農林政策G	坂本営農組合	集落協定に基づき、取組みを進められるよう、集落への支援を行う。	集落協定に基づき、取組みを進められるよう、集落への支援を行った。	協定書構成員が高齢化しているが、中山間地域における農地の保全のため、引き続き集落協定に基づいた取組を進める必要がある。
	まちなみ保存につながる活動及びまちなみ内の歴史的施設を利用したイベントの支援	まちなみ文化財G	NPO東海道関宿 関宿案内ボランティア の会 亀山宿語り部の会	引き続き亀山宿語り部の会の自立に向けて支援を行う。	一般市民向けの亀山宿語り部の会学習会を実施した。	会員の増など、担い手の積極的な育成を図る必要がある。
③歴史文化遺産への理解を深めるための事業の推進	歴史文化遺産の展示・公開、歴史文化遺産情報の発信	歴史博物館		令和3年度開催の企画展及び亀博自由研究のひろばの展示図録の配信を行う。	企画展示の展示図録を配信した。	引き続き企画展示の展示図録を配信する。
	歴史文化遺産を活用した郷土学習の充実	歴史博物館	教育支援G	実施環境が整えば、年度内に開催する	10月29日に歴史博物館 IN 屋生小学校を開催した	亀山高校に係る企画展に因み、亀山高校での移動展示を計画する

(3) 歴史文化遺産の保存と活用

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
④市民ぐるみによる歴史文化遺産を活用したまちづくりの推進	語り部、保存会、地区コミュニティなど地域住民が主体となって地域の歴史文化遺産を保存、活用する取り組みの促進と活動への支援	まちなみ文化財G	自治会 地区コミュニティ	市民活動の継続を支援するとともに、新たな地区での活動を促す。	市内各地での歴史文化遺産を核とした諸活動を支援した。	市民活動の継続を支援するとともに、新たな地区での活動を促す。
	デジタル市史を活用し、地域と連携した歴史博物館（屋根のない博物館）の創出	歴史博物館	教育支援G	地域に関係深い資料や、亀山市の歴史を伝えるうえで著名な資料、展示した資料の見どころなどを紹介していく。	「あなたのまちの歴史散歩」をテーマに出前トークを2箇所実施した。	引き続き「あなたのまちの歴史散歩」の下、新しく収集した資料を活用していくことが必要である。
⑤歴史文化遺産から文化を発信する	歴史文化遺産を活用したまちづくり観光の推進	観光・地域ブランドG	関宿・周辺地域にぎわいづくり推進連絡会議	観光に携わる団体への支援のほか、伝統的建造物等の保全活用などハード事業に対しても支援を行う。	「関宿・周辺地域にぎわいづくり基本方針」に沿った活動を行う団体へ、関宿にぎわいづくり基金を活用した補助金を交付し、支援を行った。	引き続き「関宿・周辺地域にぎわいづくり基本方針」に沿った活動を行う団体への支援のほか、伝統的建造物等の保全活用などハード事業にたいしても支援を行う。
	歴史文化遺産を活用した文化イベントの開催	まちなみ文化財G	関宿スケッチコンクール実行委員会 関宿町並み町屋茶会実行委員会	「文化財建造物公開活用事業」を進める。	関宿伝建地区内にある旧落合家住宅において、関宿まちなみ保存会や亀山市観光協会等と連携し、公開活用事業を進めた。	市民団体等との連携を深め、文化財建造物の公開をより進める必要がある。

(4) 伝統芸能の継承と活用

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
① 伝統芸能の保存、継承	郷土芸能や伝統行事が有する文化的価値について、理解、普及を図るための情報提供の充実	まちなみ文化財G	広報G	広報・広報番組等を活用して、伝統行事等の広報を行う。	コロナ禍のため、郷土芸能や伝統行事等が中止となったため、広報活動は行わなかった。	伝統行事等の確実な継承・実施に向けた支援を行う。
	映像や音声などによる郷土芸能や伝統行事の記録化	歴史博物館	まちなみ文化財G	市史、博物館資料データベース、展示図録など、歴史内容や資料データを発信しているホームページが、より利用しやすくなるように、ホームページのリニューアルを進める。	ホームページ全体のリニューアルの計画を立てた。	リニューアルを実施するための設計をする。
	活動が消滅、衰退している郷土芸能や伝統行事の発掘と復興のための取り組みの促進	文化創造G		引き続き郷土芸能や伝統行事に携わる団体に対し、国や民間団体等の各種助成金制度を周知し、活動を支援する。	ホームページ等を通じて、各種助成を周知することができた。	今後もホームページ等を通じて、各種助成を周知し、活動を支援する必要がある。
		まちなみ文化財G	関宿「関の山車」保存会	関宿「関の山車」保存会による地元の子供を対象としたお囃子練習体験等の支援を行う。	関宿「関の山車」保存会による地元の幼児や小学生を対象とした小山車曳きやお囃子太鼓の練習体験会を実施した。	整備した関の山車会館を活用し、地元の子供を対象としたお囃子練習体験会等の定期的な実施に向けた支援を行う。

(4) 伝統芸能の継承と活用

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
② 伝統芸能の後継者の育成	郷土芸能や伝統行事についての文化芸術講座や実演会の開催など、市民が伝統文化に触れ、親しむ機会の充実	文化創造G		芸文祭や文化会館フェスタ、市民俳句会などの市民活動の発表の場を利用して、伝統文化・伝統行事を体験できる機会とする。	新型コロナウイルス感染拡大防止により芸文祭は中止となったが、市民俳句会では、学生を含む市民に俳句について考える機会を提供できた。	今後も伝統文化・伝統行事を体験できる機会や発表の場の提供を進める。
		まちなみ文化財G	関宿「関の山車」保存会	関宿「関の山車」保存会による地元の子供を対象としたお囃子練習体験等の支援を行う。	関宿「関の山車」保存会による地元の幼児や小学生を対象とした小山車曳きやお囃子太鼓の練習体験会を実施した。	整備した関の山車会館を活用し、地元の子供を対象としたお囃子練習体験会等の定期的な実施に向けた支援を行う。
		社会教育G	亀山市立中央公民館	【中央公民館講座】 水引「伝統とアート」・古典文学入門・ 【かめやま人キャンパス】 まちの歴史人養成講座	出前文化教室や出前教室などで伝統文化に関する講座を実施した。	伝統文化を地域の魅力として共有する意識の中で取り組んでいく必要がある。
	子どもや若者が地域の伝統文化を学ぶ機会の充実	文化創造G		芸文祭や文化会館フェスタ、市民俳句会などの市民活動の発表の場を利用して、伝統文化・伝統行事を体験できる機会とする。	市民俳句会では、学生を含む市民に俳句について考える機会を提供できた。	今後も伝統文化・伝統行事を体験できる機会や発表の場の提供を進める。
		まちなみ文化財G	関宿「関の山車」保存会	関宿「関の山車」保存会による地元の子供を対象としたお囃子練習体験等の支援を行う。	関宿「関の山車」保存会による地元の幼児や小学生を対象とした小山車曳きやお囃子太鼓の練習体験会を実施した。	整備した関の山車会館を活用し、地元の子供を対象としたお囃子練習体験会等の定期的な実施に向けた支援を行う。
		社会教育G	亀山市立中央公民館	【放課後子ども教室】 灯おどり教室・かんこ踊り・茶道・生け花	放課後子ども教室において、地域の学習アドバイザーの指導による体験教室を行った。	様々な機会をとらえて、地域の伝統芸能を地域の指導者から子どもや若者に伝える機会を作る必要がある。
地域の高齢者が子どもや若者に伝統文化を伝える仕組みづくりの推進	まちなみ文化財G	関宿「関の山車」保存会	関宿「関の山車」保存会による地元の子供を対象としたお囃子練習体験等の支援を行う。	関宿「関の山車」保存会による地元の幼児や小学生を対象とした小山車曳きやお囃子太鼓の練習体験会を実施した。	整備した関の山車会館を活用し、地元の子供を対象としたお囃子練習体験会等の定期的な実施に向けた支援を行う。	
	社会教育G		【放課後子ども教室】 文化筆・茶道・生け花・伊勢型紙 等	放課後子ども教室において地域の学習アドバイザーの指導により文化筆、日本舞踊、茶道、生け花などの体験教室を行った。	コーディネーター意見交換会などの場を通して、地域から次世代への文化伝達方法の共有が必要である。	
③ 伝統芸能の公開	市民文化祭のほか、国民文化祭、県民文化祭などの機会をとらえて、亀山市の伝統芸能を披露する公演の実施	文化創造G		芸文祭や文化会館フェスタ、市民俳句会などの市民活動の発表の場を利用して、伝統文化・伝統行事を体験できる機会とする。	新型コロナウイルス感染拡大防止により芸文祭は中止となったが、市民俳句会では、学生を含む市民に俳句について考える機会を提供できた。	今後も伝統文化・伝統行事を体験できる機会や発表の場の提供を進める。

(5) 文化的な景観の保全

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画（具体的な取り組み内容）	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①景観の保全、整備の 推進	亀山市景観条例及び景観計画の効果的な運用による魅力ある景観の保全と形成	都市計画G		届出の事前相談の中で、景観への配慮事項等の確認等を行い、スムーズな手続きを進める。	景観法の届出に際し、50件の事前相談を行った。	今後も、届出の事前相談の中で、景観への配慮事項等の確認等を行い、円滑な手続きに努め、亀山市景観条例及び景観計画の効果的な運用を進める必要がある。
	景観形成推進地区及び景観重点地区の指定と保全、整備の推進	都市計画G		景観形成推進地区内における景観重要建造物候補について、指定を行う。 また、引き続き景観重要建造物等の指定や重点地区の指定について検討する。	景観形成推進地区内における景観重要建造物の指定について、景観審議会を開催し、4件の景観重要建造物の指定を行った。	景観形成推進地区における町屋等の景観重要建造物（候補）の取壊しや建替えが進んでいるので、現存する景観重要建造物（候補）の保存や良好な景観の創出のため、引き続き景観重要建造物の指定等や重点地区の指定を進める必要がある。
	亀山市の景観の大きな特徴となっている自然景観、歴史・文化景観のうち、主要な視対象について、眺望景観として発掘、保全の推進	都市計画G		景観届出の際に、チェックシートに行為地の近隣に主要な視対象・視点場リストに挙がっているものがないか確認を行い、また、ある場合は眺望保全に配慮するよう指導を行う。	景観届出の確認時に、行為地の近隣に主要な視対象・視点場リストに挙がっているものがないか、庁内のGISに視点場レイヤーを活用し、視点場の確認に漏れがないよう努めた。	主要な視対象についての眺望景観の発掘、保全を図るため、眺望景観重点地区の指定等の推進が必要である。
		農林政策G		農家や営農組合の方へ、農業経営の安定化を支援しつつ、フェイスブック等を通じ、取組内容等を情報発信することで、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に理解を得ていただき、持続的な運営を支援する。	農家や営農組合の方へ、農業経営の安定化を支援しつつ、フェイスブック等を通じ、取組内容等を情報発信し、農村集落の景観の向上や耕作放棄地の発生防止に努めた。	農家や営農組合の担い手が高齢化していることで、実施者の確保が難しい。また、市の補助金だけでは、必要経費を一部しか賄えないため、取組面積の拡大につながりにくい。
	景観計画の周知のための啓発や情報提供の充実	都市計画G		地域や関係機関に対して、引き続き景観に関する定期的なPRや回覧、また、良好な景観に関する事業についての情報発信を進める。	景観の日に合わせて、市広報を通じて景観計画についての周知を行うとともに、関係機関（指定確認検査機関、三重県塗料塗装振興会等）にPRチラシの配布を行った。	地域や関係機関に対して景観計画及び届出制度の周知について、引き続き定期的なPRや回覧を実施し、良好な景観に関する事業についての情報発信を進める必要がある。

(5) 文化的な景観の保全

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画（具体的な取り組み内容）	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
②地域における環境意識を高める取り組みの推進	里山公園や森林公園などを環境学習の場として活用	環境創造G		8月にザリガニつり大会、12月にクリスマスリースづくり体験、また新たに秋にイベントを実施し、自然の大切さを学ぶ機会を提供するとともに、亀山里山公園「みちくさ」管理運営協議会主体のフォトコンテスト、里山塾において、環境教育の充実を図っていく予定である。しかしながら、新型コロナウイルスの状況により、イベントの開催ができない場合も出てくると思われるので、インターネットの活用等、開催方法・内容等を検討する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、ザリガニつり大会の開催方法を見直し、開催期間中に約600名の方にご参加いただき、外来種に関する啓発を行った。一方、クリスマスリースづくり体験については、事前申込制であり小規模であることから引き続き実施し、約50名の方が自然素材を使った工作体験をした。なお、秋期の新たなイベントについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施を取りやめた。また、市民団体と行政で構成する亀山里山公園みちくさ管理運営協議会において、フォトコンテストおよび里山塾（年6回）を実施。さらに、本協議会による協議を8回開催し、公園の整備・運営方法・有効活用について検討を行った。さらに、かめやま出前トークの制度を利用し、里山公園における講座と観察会を7回開催した。令和3年総会、役員会で承認された事業計画に基づきイベント等を行った。	ザリガニつり大会の開催方法を見直したところ、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に影響を受けずに開催でき、かつ利用者の大幅増加につながった。 また、かめやま出前トークの利用を呼びかけ、小規模な講座や観察会を開くことで、より濃密に自然と親しむ機会を設けることができた。 このため、今後は大型イベントを行うのではなく、開催方法の工夫やかめやま出前トークの利用促進を継続していきたい。
		農林政策G		鈴鹿川源流の森林づくり協議会活動の支援と市が主催する森林関係イベントを通じ、多くの企業、市民への情報発信に努める。 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会主催のイベントへの参加者の中で、森林、環境に強い関心を持っている方による、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベントの企画などに取り組む。	イベント（参加者：約220名） 8月7日 サマーフォレスト（木工工作） 9月17日～11月16日 バイオームイベント 11月3日 ツリークライミング、木工工作（坂下地区） 3月5日 東海自然歩道散策、シタケの菌打ち、植樹 3月26日 ワークショップ	多くの会員・市民に源流域が育む地域資源を感じ、次世代へ継承して意識を醸成できるようなイベントを開催し、情報発信を行っていく必要がある。
	協賛企業や地元住民の協働による、森林づくりのための実践活動の促進	農林政策G	商工業振興G 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会		「市公共建築物等木材利用方針」に基づき、公共施設の木造化・木質化が図られるよう、引き続き関連部署と連携して推進する。 また、森林・木材関係団体と連携し、木の良さや木材利用を促進するため、市民に森林と木材と触れ合う機会を提供するとともに、市広報や市ホームページへの掲載による啓発や広く市民に普及するような新たな啓発活動をさらに検討する。 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の取り組みを通じて、より多くの市民・事業者への啓発活動を検討する。	「市公共建築物等木材利用方針」に基づき、公共施設の木造化・木質化が図られるよう、引き続き関連部署と連携して推進した。 ○県産材利用公共建築物件数 1件 亀山木材産業協同組合と協働して市内幼稚園・保育園3園で木育教室を実施した。また、森林公園やまびこ等で木工工作を含むイベントを開催（3回）するなど木と触れあう機会を提供した。 市イベント、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベントで使用する工作キットは、市産産材を使用し、イベント参加者に市産産材のPRを行った。
学校における環境学習の充実		教育支援G	環境創造G	社会に開かれた教育課程を意識し、生活科・総合的な学習や社会科等での学習に加え、各学校・地域にて、地域と協働した活動（清掃活動、花の栽培など）や、保護者との環境に関する学習・活動に取り組む。	生活科・総合的な学習や社会科等での学習に加え、各学校・地域にて、地域と協働した活動（清掃活動、花の栽培など）や、保護者との環境に関する学習・活動に取り組んだ。	学校環境デーを中心に年間を通して、地域や保護者と協働した活動を取り入れながら、環境学習の充実を図る。
③地球環境に配慮した文化活動の推進	かめやま環境市民大学を継承した「かめやま市民大学・キラリ」の開催	環境創造G	総合環境研究センター	適切な開催方法を検討のうえ、引き続き企業との連携による環境出前講座を実施する。	市内3中学校において、企業との連携による環境出前講座を開催した。	コロナ禍における学校のニーズに合わせ、対面開催とオンライン開催を使い分けながら、環境出前講座を継続していく必要がある。
	既存の組織を活用した、市民、事業者、行政のネットワークによる地球温暖化対策の推進	環境創造G		三重県地球温暖化防止活動推進センター及び推進員と協力し、温暖化防止を推進させる啓発、周知を行う。	今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、様々なイベントが開催されず、三重県地球温暖化防止活動推進員と共に啓発活動を行うことができなかった。	今後もイベントが開催されない事が考えられるため、三重県地球温暖化防止活動推進員とともに、今後の普及啓発手法の検討を行う必要がある。
	情報発信をはじめとする、環境保全の意識を高める取り組みの推進	環境創造G	亀山市地区衛生組織連合会	市民団体と連携し、引き続き環境美化等に関する情報発信等を実施していく。	亀山市地区衛生組織連合会と連携して、市内一斉清掃を令和3年11月14日に実施し、環境美化に取り組んだ。 クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となったが、地衛連たよりの発行や環境パトロール等の実施により、環境美化等に関する情報発信を行った。	環境保全や環境美化への意識高揚を図るため、今後も継続的・効果的な啓発方法の検討を行い事業を実施していく必要がある。

(6) 次世代を担う人づくり

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和2年度の実績	(2) 今後の課題
①学校における文化芸術鑑賞機会の充実	子どもたちが本物の文化芸術に直に触れることのできる機会の提供	教育支援G	(公財) 亀山市地域社会振興会	成長期にある児童生徒に優れた音楽、地域と関わりのある音楽、伝統文化を鑑賞させる機会を持つため、関係部局との連携を図りつつ、児童生徒の実態に合った演奏者の選定等を行っていく。	感染症感染拡大防止のため、市内小中音楽会は中止となったが、1校狂言を鑑賞することができた。また、新日本フィルによるミニコンサートを実施した。	感染拡大防止に努めながら、児童生徒の発達段階を踏まえつつ、地域で文化・芸術的な活動、芸能活動等を行っている方々を活かした取組をすすめていく必要がある。
	学校と文化会館などとの連携によるアウトリーチ活動の拡充	教育支援G	(公財) 亀山市地域社会振興会	文化会館との連携により、小中学校に音楽の外部講師を派遣し、児童生徒の歌唱力、表現力の向上を図るようにする。	文化会館との連携により、ピアノコンサート等のアウトリーチを実施した。また、合唱コンクールに参加する学校へ、外部講師による合唱指導を実施した。	外部講師の指導を受けることで歌唱に対する児童生徒の意識も高まっている。児童生徒の歌唱力、表現力を高めるために、今後も継続していく必要がある。
	地域で活動する芸術家や周辺の大学、高等学校などの協力による、優れた文化芸術を鑑賞する機会の充実	教育支援G	社会教育G	地域の方々の協力のもと、児童が直接鑑賞できる機会の設定にさらに努めていく。	地域の方々に伝統芸能を教えていただいたり、地域の方が作られた作品を鑑賞したりすることができた。	社会に開かれた教育課程を意識し、それぞれの活動のねらいを明らかにしていく必要がある。
②創作・鑑賞活動の充実	学校における音楽や書写、図画工作、美術などの学習の充実	教育支援G	社会教育G	教職員の指導力向上を図るため、授業改善に取り組み、校内研修の充実を図る。また、外部講師を各校に派遣したり、県の研修講座の参加をすすめていく。	教職員の指導力向上、児童生徒理解のため等の研修講座を実施した。	各教科における資質能力を図るため、授業改善に取り組むとともに、教職員の実態やニーズにあった研修講座の実施、外部講師を各校に派遣する必要がある。
	子どもたちが日頃の創作活動の成果を発表し、鑑賞し合う機会の提供	教育支援G	(公財) 亀山市地域社会振興会 自治会	「亀山市小中学校音楽会」を実施するとともに、演奏家を招いて音楽を鑑賞する場を設定する。また、「亀山市児童生徒図工・美術展」「亀山市児童生徒書写展」を実施する。	「亀山市小中学校音楽会」は中止とした。また、「亀山市児童生徒図工・美術展」を実施し、小中学校の全児童生徒が参加した。「亀山市児童生徒書写展」においては、各校において実施した。	今後も継続して「亀山市小中学校音楽会」「亀山市児童生徒図工・美術展」「亀山市児童生徒書写展」を実施するとともに、芸術鑑賞の場として設定していく必要がある。

(6) 次世代を担う人づくり

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和2年度の実績	(2) 今後の課題
③郷土学習の充実	学校と歴史博物館、図書館などとの連携による郷土学習の充実	教育支援G	歴史博物館	社会に開かれた教育課程を意識しながら、歴史博物館との連携を強め、歴史博物館の持つ資源や地域学習支援事業を活用した学習を進める。	社会見学や総合的な学習の時間等に児童・生徒が歴史博物館を訪問したり、学芸員が学校を訪れたりしながら、亀山市の歴史や文化を学習した。また、各学校において、社会科など各教科の授業等で、歴史博物館の資料を活用し、子どもの学習意欲や理解度の向上を図る取組を行った。	今後も歴史博物館との連携を強め、歴史博物館の持つ資源をより活かした学習を進めていく。また、歴史博物館の学芸員や指導員に来校してもらい、学習する機会をもつ必要がある。
		図書館		庁内各部署が発行する諸計画などを調査し、収集・保存を行う。	庁内各部署が発行する諸計画などの収集・保存を行った。	地域資料（郷土資料や行政資料）を継続して計画的に収集・保存を行う。地域資料を活用した、まちの記録づくりに向け、歴史博物館と連携を行う。
	郷土の自然や歴史、産業、伝統文化などについて、生きた学習ができるように、グストティーチャーや学習ボランティアの活用促進	教育支援G	社会教育G	総合的な学習の時間、教科学習等を通して、地域の豊かな人材の活用を図る。その際、指導をしていただく方と、取組のねらいの共通理解を図りながら進める。	総合的な学習、教科学習等で、地域の方を招聘し、米や野菜作り、花の栽培、などの活動を行った。また、様々な職場で働く方々を招いて仕事体験をしたり模擬避難所体験などを実施したりした。	学校行事や教科学習の目的に合ったグストティーチャーやボランティアの方の確保と、内容の充実を図る必要がある。また、それぞれの活動のねらいを明らかにする必要がある。
	展示やスクールミュージアムによる学校教育支援	教育支援G	社会教育G	可能な限りで、地域の方々の作品を展示し、児童が鑑賞できる環境を整えていく。	地域のコミュニティセンターで、地域の方々の作品を児童が鑑賞することができた。	今後も、可能な限りで、地域の方々の作品を展示し、児童が鑑賞できるようにしていく必要がある。
	地域の伝統工芸品や特産物などに身近に触れ、実際に体験ができる機会の提供	教育支援G	社会教育G まちなみ文化財G 農業G	郷土の文化や産業に関する施設について、教員も興味を持つとともに、事前指導を行う。また、地域の方と連携を深め、学習内容に応じて様々な方に協力を依頼できるような関係づくりをさらに進める。	社会見学で各種施設を訪問し、亀山市の歴史・文化・産業について目で見て体験することにより学習することができた。また、グストティーチャーを招き、専門的な立場からお話いただくとともに、生き方や思いについても学ぶことができた。	年間計画に取組の目的を位置づけ、郷土の文化や産業に関する施設について、教員も学びを深め知識を得ていくことや、学習内容に合致するようなグストティーチャーを探していくことが必要である。

(6) 次世代を担う人づくり

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和2年度の実績	(2) 今後の課題
④家庭教育における文化芸術の振興	家庭教育講座や広報啓発活動などの充実	教育支援G	社会教育G 図書館	幼稚園・小学校での「ファミリー読書リレー」を継続実施し、家庭での読書習慣の定着を図る。また、推薦図書を紹介する「読書チャレンジ」を継続実施し、読書の幅を広げ、読書に親しむように取組を進める。	幼稚園・小学校で「ファミリー読書リレー」に取り組み、566家族が参加した。幼稚園、保育園、認定こども園、小学校において「読書チャレンジ」の取組を実施した。また、図書だより等を発行し、家庭への情報発信を行った。	今後も「ファミリー読書リレー」を継続実施し、家庭での読書習慣の定着を高める。また、「読書チャレンジ」の取組を進める。
		教育支援G	社会教育G 図書館	ファミリー読書リレーや読書チャレンジを継続して実施する。子どもの読書習慣確立のために各校の取組について情報共有を行ったり、システム利用についての研修会を実施したりする。	学校図書館支援事業において、ファミリー読書リレーを実施した。また、各校において、朝の読書タイムや、読み聞かせ活動など、日常的な読書指導に取り組んだ。図書館情報協議会や学校司書等研修会において各校の取組の交流を行った。新システムの利用についても研修を行った。	図書館情報システムを使った効果的な読書指導のあり方や小さい頃から読書に親しませるための取組を継続して行う必要がある。
	子どもの読書習慣の定着と親子の触れ合いを深める活動の推進	図書館	市民活動団体	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体の協力を得て、本を通して親子で触れ合えるイベントを継続して開催する。	イベントの参加人数を制限するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体の協力を得て、親子で楽しめるイベントや図書館まつり月間を開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体等の協力を得て、本を通して親子で触れ合えるイベントを継続して開催する必要がある。

(7) 生活文化の充実

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①暮らしに根づいた文化の推進	家族の時間づくりなどを活用し、親子の絆、地域の絆を深める機会の充実	人権・ダイバーシティG	商工業・地域交通G	ワーク・ライフ・バランス週間に集中して、社会教育施設等の無料開放や講演会等を行い、市民や事業所へ啓発を行う。また、顕著な取り組みを行っている事業者等を広く紹介し表彰式を実施した。	ワーク・ライフ・バランス週間に集中して、社会教育施設等の無料開放や講演会等を行い、市民や事業所へ啓発を行った。また、顕著な取り組みを行っている事業者等を広く紹介し表彰式を実施した。 表彰実績5社	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に働き方が多様化してきたことから、企業向けの働き方改革については担当課とより連携するとともに、男女共同参画部署として広く市民に向けた男女共同参画に関する講座等を開催していく必要がある。
		図書館	市民活動団体	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体の協力を得て、親子や地域の絆を深める機会を継続して提供していく。	イベントの参加人数を制限するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体の協力を得て定期イベントのほか、特別イベントを開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、図書館ボランティア団体等の協力を得て、親子や地域の絆を深める機会を継続して提供していく必要がある。
	教育支援G		生活科・総合的な学習の時間、社会科などでの学習時に、体験活動を重視し、生活文化に触れる機会を計画的に設定する。	生活科や総合的な学習の時間、社会科等の学習時に、家族や地域の方に聞き取りを行うなどの調べ学習をした。また、実際に体験することにより、生活文化に触れる機会を設定した。	社会に関われた教育課程を意識し、今後も、各校での取組を継続するため、子どもの実態や課題、活動のねらいなどを共有する必要がある。	
	まちなみ文化財G	歴史博物館	まちなみ文化財Gが主体となり歴史博物館協力の下で行う心形刀流武芸形演武見学会を新型コロナウイルス感染症予防策を十分に施したうえで実施する。	まちなみ文化財Gが主体となり歴史博物館協力の下で行っている心形刀流武芸形演武見学会は、コロナ禍のため中止となった。	まちなみ文化財Gが主体となり歴史博物館協力の下で行う心形刀流武芸形演武見学会を実施するため、新型コロナウイルス感染症予防策を十分に実施する必要がある。	
	文化創造G	歴史博物館	教育支援G	芸文祭や文化会館フェスタ、市民俳句会などの市民活動の発表の場を利用して、伝統文化・伝統行事を体験できる機会とする。 実施環境が整えば、年度内に開催する	新型コロナウイルス感染症拡大防止により芸文祭は中止となったが、市民俳句会では、学生を含む市民に俳句について考える機会を提供できた。 10月29日に歴史博物館 IN 鳶生小学校を開催した。	今後も伝統文化・伝統行事を体験できる機会や発表の場の提供を進める。 亀山高校に係る企画展に因み、亀山高校での移動展示を計画する。
②食文化の継承、創造	地元の安心・安全な食材をじっくり味わう「スローフード」運動の推進	健康づくりG	亀山市食生活改善推進協議会	市ホームページやCATV等を活用し、食生活改善推進協議会の活動について広く周知していく。また、幼児期における食生活についての情報提供を継続的に行う。	食生活改善推進協議会の協力のもと、市民伝達講習会(1回、10人)と地域での料理講習会(9回、99人)を開催した。市民伝達講習会では、市内で採れた食材をメニューに加えたテレビの紹介等を行った他、CATVやホームページでも食を通した健康づくりの啓発を行った。	調理実習については新型コロナウイルス感染症の感染状況を観ながら実施し、CATVやホームページ等を活用して食を通した健康づくりについて啓発していく必要がある。
	郷土料理や行事食、食習慣を食文化として伝達する取り組みの充実	健康づくりG	亀山市食生活改善推進協議会	市ホームページやCATV等を活用し、食生活改善推進協議会の活動について広く周知していく。	食生活改善推進協議会の協力のもと、市民伝達講習会(1回、10人)と地域での料理講習会(9回、99人)を開催した。また、CATVやホームページにおいて、健康に配慮した正月料理等の行事食の紹介を行った。	市民伝達講習会や市ホームページ等において、地域の食文化の啓発を行っていく必要がある。
	保育所や学校において、旬の食材や行事食などを取り入れた「かめやまっ子」給食の実施	保健給食G		定期的に市内産・県内産食材を給食に取り入れることができるよう、産業振興課農業Gと連携のもと、生産者や納入業者との調整や委託業者との協議を継続するとともに、実施回数の増加について検討する。また、「地物が一番みえの日」を年12回実施する。	自校方式及びセンター方式の給食において、市内産・県内産の食材を使用した「かめやまっ子給食」を年22回実施した。また、デリバリー方式の給食においては、新型コロナウイルス感染症の影響から、県内産の食材を使用した「地物が一番みえの日」は、年10回の実施となった。	食材の生産に関わる方々の高齢化などにより、作付けを依頼できる食材の種類や良質な食材の量の確保が難しくなっており、実施回数の増加が難しくなっている。また、天候等の影響により、価格の高騰などが懸念される。
		子ども総務G		旬の食材を用いた献立作成を心がけ、可能な限り地産地消や行事食の提供を推進するとともに、地産地消の重要性や行事食等の情報を食育だよりに掲載し、情報提供を図る。	可能な限り旬の食材を献立に取り入れた。給食材料納入業者に地元又は地元に近い産地の食材を納入するよう依頼した。月1回のお誕生日会や季節(端午・桃の節句、七夕、節分等)に合わせた行事食、亀山みそや焼きうどんを提供した。	旬の食材や地産地消の重要性などについて食育だより等を用いて保護者に向けて情報提供することが必要である。
食文化の伝承及び創造に関する市民の主体的な活動の支援	健康づくりG	亀山市食生活改善推進協議会	市ホームページやCATV等を活用し、食生活改善推進協議会の活動について広く周知していく。	食生活改善推進協議会の協力のもと、市民伝達講習会(1回、10人)と地域での料理講習会(9回、99人)を開催した他、CATVにおいて、食生活改善推進協議会の活動について周知した。	引き続き、地域での食を通した健康づくりについての活動ができるように支援していく必要がある。	
	地域まちづくりG	亀山市自治会連合会	食文化の伝承及び創造に関する市民の主体的な活動である、自治会連合会が主催する「食の祭典・市民の集い」などを支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	自治会連合会の事業経費は、市が交付する自治会連合会補助金に依存しているため、開催規模や内容は補助金額に左右されるが、自治会連合会が事業を実施する限り支援していく。	

(7) 生活文化の充実

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
③健康文化の推進	地区コミュニティなどでの健康づくり活動の促進	高齢者支援G	地区コミュニティ	市全域で実施できるよう新たな支援メニューを整え、周知啓発に努める。住民主体の介護予防が推進してできるよう今後も支援していく。	健康づくり応援隊養成講座を修了した3地区のうち新型コロナウイルスの影響により1地区1回しか活動できなかった。また、新たな依頼もあったが中止となった。	新たな参加者や団体が増えるよう、地域まちづくり協議会へ引き続き啓発を行う。
		健康づくりG	地区コミュニティ	住民が主体となった地域での健康づくり活動の輪が広がり、継続していけるよう、地域の状況を確認しながら、必要に応じて支援していく。	健康づくり応援隊養成講座を修了した地区におけるフォロー教室を行った。(本町地区1回、厩生地区1回)また、出前トークを行い、地域の実情に応じた健康づくりを活動の支援を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、健康づくり活動のニーズも変化しているため、引き続き健康づくり応援隊養成講座終了後の地域や、自主的な健康づくり活動のきっかけづくりを希望する地域へ必要に応じた支援を行っていく必要がある。
	歴史探索などを取り入れたウォーキングの普及	まちなみ文化財G	亀山市観光協会 自治会 地区コミュニティ	歴史探索等のウォーキングに職員を講師として派遣し、ウォーキングイベントの充実を図る。	東海道関宿まちなみ保存会主催の公開講座に職員を講師として派遣し、関宿内に遺る鈴鹿関の痕跡を巡り歩いた。コロナ禍により、毎年2回開催されていた金王道ウォーキングが中止となったため、イベント開催の支援ができなかった。	歴史探索等のウォーキングイベントの開催を市内各地に広げる必要がある。
		健康づくりG		住民が主体となった地域での健康づくり活動の輪が広がり、継続していけるよう、地域の状況を確認しながら、必要に応じて支援していく。	健康づくり応援隊養成講座を修了した地区におけるフォロー教室を行い、ウォーキングを含めた、地域での健康づくり活動の支援を行った。(本町地区1回、厩生地区1回)	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の健康づくりのニーズも変化しているため、感染対策を考慮した自主的な健康づくり活動の啓発を行う必要がある。
	健康増進や体カづくりのためのスポーツイベントや教室などの機会の充実	スポーツ推進G		市内の各種スポーツ団体や、運動施設指定管理者の取組みを支援し、誰もが気軽に取り組めて、継続できるスポーツや運動の機会の提供を。また、市民体カテストや壮年ソフトボール大会等の主催イベントを実施する。	市民に対してスポーツや運動機会の情報提供を行うため、市内の各種スポーツ団体や運動施設指定管理者の取組を広報紙へ掲載した。また、一般財団法人アールピーススポーツ財団が主催する「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」に参加し市民の運動実施率向上のためのきっかけづくりをした。	引き続き、健康推進のため、各種団体と連携しながら、事業に取り組む必要がある。

(8) データベース化と情報発信

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①情報通信ネットワークを利用した文化情報の発信	文化情報の発信に地域住民の意見が反映できる環境づくりの推進	DX・行革推進室		まちづくり協議会が、自身のホームページを通じて情報発信ができる環境を維持していく。	まちづくり協議会が、自身のホームページを通じて情報発信ができる環境を維持した。	まちづくり協議会が、自身のホームページを通じて情報発信ができる環境を維持していく。
	ケーブルテレビなどを活用した文化情報の発信	広報G	文化創造G	番組アナウンサーや市民活動団体の協力などにより、市民に親しまれる番組づくりを行う。市内外に対して訴求力のある動画を市HP等で情報発信する。市外への情報発信や新たな交流促進のため、伊賀市、甲賀市との番組交換を行う。	広報サポーターや高校生、中学生、小学生アナウンサーなど、コロナ禍で可能な範囲での参画を得て、市民に親しまれる番組づくりを行った。歴史（鈴鹿闘跡）、自然（亀山7座）、人（創業支援制度補助活用者）を地域の魅力と捉えた番組を制作し、その動画を市HPに掲載することで市内外へ情報発信を行った。いこか連携プロジェクトでは、初めての取り組みとして、いこか連携イベント（鉄道遺産群、三国岳登山）を取材し、当日の参加者の様子を各市のニュースとして放送し、魅力の共有につながった。	市民に親しまれる番組づくりを継続して行うとともに、本市の魅力を伝える動画をインターネットなどを活用して発信していく必要がある。また、交流人口の拡大を狙い、継続してイベント情報を市外へ発信していく必要がある。
②文化活動情報の共有体制の構築	市ホームページなどを通じた各文化施設におけるイベント案内や利用案内などの情報発信の充実	広報G	文化創造G	文化施設の所管部署における、積極的な情報発信を促す。また、引き続き研修を開催し、情報発信方法を具体的に学ぶ機会を設ける。	広報などで案内するイベントについて、市ホームページのイベントカレンダーに掲載して案内した。また、子育て世代をターゲットに、シティブロモーション専用ホームページにおいても、イベントやニュース情報を掲載した。新規採用職員を対象として広報やシティブロモーションの意識を高める職員研修を実施した。	情報発信の充実に向け、発信の必要性や効果的な手法などについて職員が理解を深める機会をつくる必要がある。
	高齢者、障がい者などに分かりやすい文化情報の提供	広報G	文化創造G	引き続き、アクセシビリティへの対応が不十分な箇所が確認され次第、修正を行うほか、研修を開催し、高齢者や障がい者などに分かりやすい情報の提供を促す。	ホームページの更新時に、アクセシビリティへの対応が必要な箇所が確認された場合は、随時説明の上、修正を行った。	各種広報媒体では、分かりやすく簡潔な言葉や表現で情報発信を行う必要がある。ホームページにおいては、視覚障がい者が利用する読み上げ機能に対応できるよう、表や画像のキャプションなどを引き続き確認する必要がある。
③地域の文化資産のデータベース化と活用	地域の文化資産を電子データ化した先駆的なデジタル市史の積極的な活用	歴史博物館		夏の亀博自由研究のひろばで、「亀山の山々が生んだ世界的登山家 尾崎隆」を開催する	夏の亀博自由研究のひろばで、「亀山の山々が生んだ世界的登山家 尾崎隆」を開催した。	ホームページのリニューアルを実施するための設計をする。
	地域に伝わる文化財や伝統芸能などの情報のデータベース化や、画像での保存、無形文化資産の映像による保存など電子データ化の推進	まちなみ文化財G		地域に伝わる文化財や伝統芸能などで、かつて地元で記録され残されている映像記録の発掘を行う。	作成した記録映像を関の山車会館で上映するなど普及啓発に努めた。	過去に作成した記録映像の普及・周知と、後継者育成のために活用していただく必要がある。
	地域の文化活動の紹介や文化人、文化資源など、地域の身近な情報のデータベース化と活用促進	文化創造G		地域で行われている文化活動について情報収集するとともに、その活動内容や実績について、ケーブルテレビ等を活用し、情報発信していく。	市展等市民の芸術活動について、ケーブルテレビ等を通じて情報発信することができた。	地域で行われている文化活動について情報収集するとともに、その活動内容や実績について、ケーブルテレビ等を活用し、情報発信していく必要がある。

(9) 文化と産業経済の融合

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
①文化関連産業の育成	「ろうそく」「亀山茶」などのブランドイメージ向上と 情報発信の充実	観光・地域ブランドG	亀山商工会議所 農林政策G	国民体育大会を機に「亀山ブランド」を積極的に 発信するとともに、アンテナショップや百貨店な どでPR・販売できるよう販路拡大を目指す。また、 地域資源を活かした新たな特産品についても ブランド化していくため、発掘から販路拡大ま での各段階に応じた支援制度を構築する。	亀山ブランドとして10事業者17品目を認定し た。国民体育大会を含め多数のイベントが、新 型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とな ったが、百貨店等でのPR販売を実施できた。また、 人的支援を実施するなど、地域資源の発掘・磨き 上げ・情報発信を実施できた。	ブランド認定基準を維持しながら認定品を増やす ことがブランドイメージの向上につながると思え られるため、市産品の質が高まる支援制度を構築 すること。また、新型コロナウイルス感染症拡大 防止の観点から、イベントでブースを設けてのP Rだけでなく、ホームページを含むSNSでの情 報発信を定期的に行うことが必要である。
		農林政策G	亀山市茶業組合 亀山青空お茶まつり実 行委員会	非接触で効果的に亀山茶をPR出来る手法を検討す るとともに、イベント等での亀山茶カフェや学校 等でのお茶の淹れ方教室を可能な限り実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、亀山青 空お茶まつりが中止となった。 一方、市内小・中学校においてお茶の淹れ方教室 等を実施したほか、うがい茶を配布して亀山茶を PRした。 また、亀山市茶業組合員が生産する茶が亀山ブラ ンドに認定され、亀山茶の認知度向上に寄与し た。	より効果的な情報発信に取り組み認知度の向上を 図り、亀山茶の消費拡大につなげていく必要があ る。
①文化関連産業の育成	「環境にやさしいものづくり」など、亀山市に根づいた 先端技術産業の育成	商工業振興G	亀山商工会議所	市だけでなく県や支援機関が行う支援事業や助成 制度について、様々な機会を捉え、関係機関とも 連携し、効果的な情報発信を行う。	市内中小企業を対象とした専門家による経営支援 事業や設備投資にかかる資金繰り支援制度などに より、企業の事業活動を支援した。 また、導入促進計画に基づき、中小企業が生産性 向上を目的に策定した先端設備等導入計画の認定 を行った。	様々な機会を捉え、関係機関とも連携し、効果的 な情報発信を行う必要がある。
	地域の特産をブランドにした産業の育成支援	観光・地域ブランドG	亀山商工会議所 農林政策G	発掘から販路拡大までの各段階に応じた支援制度 を地域ブランド創出事業の中で構築していく。	亀山ブランドの「ステップアップ支援事業」の人的 支援として、亀山ブランド認定事業者と百貨店 等とのマッチングを行った。	引き続き人的支援を行い、新たに主体となる者が 自ら学べる機会を設けることや金銭的支援を行う 仕組みを構築することが必要である。

(9) 文化と産業経済の融合

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題	
②文化を生かした産業経済活動	地域産材の利用や森林関係団体などとの連携による「木造文化」の保存、普及	農林政策G	住まい推進G	「市公共建築物等木材利用方針」に基づき、公共施設の木造化・木質化が図られるよう、引き続き関連部署と連携して推進する。 また、森林・木材関係団体と連携し、木の良さや木材利用を促進するため、市民に森林と木材と触れ合う機会を提供するとともに、市広報や市ホームページへの掲載による啓発や広く市民に普及するような新たな啓発活動をさらに検討する。 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の取り組みを通じて、より多くの市民・事業者への啓発活動を検討する。	「市公共建築物等木材利用方針」に基づき、公共施設の木造化・木質化が図られるよう、引き続き関連部署と連携して推進した。 ○県産材利用公共建築物件数 1件 亀山木材産業協同組合と協働して市内幼稚園・保育園3園で木育教室を実施した。また、森林公園やまびこ等で木工工作を含むイベントを開催(3回)するなど木と触れあう機会を提供した。 市イベント、鈴鹿川等源流の森林づくり協議会イベントで使用する工作キットは、市域産材を使用し、イベント参加者に市域産材のPRを行った。	市民に広く木の良さや木材利用を伝えるための取り組みを検討する必要がある。	
	職人の技によって支えられてきた伝統工芸、食文化などの保存、育成	まちなみ文化財G	NPO法人亀山文化資産研究会	NPO法人「亀山文化資産研究会」の活動を支援する。 伝統的建造物群保存修理修景事業等を継続して実施する。	NPO法人「亀山文化資産研究会」主催の伝統的建造物群修理修景工事の現場公開等の活動を支援した。 閑宿における伝統的建造物群保存修理修景事業を通して、建築士や技能者の養成を行った。	活動支援を継続的に行うとともに、活動の場である伝統的建造物群保存周知修景事業等を継続的に実施していく必要がある。	
	「企業×セナ」など民間の支援活動の促進	商工業・地域交通G	文化創造G	民間の支援活動の促進につなげていくために、研究を行う。	民間の支援活動をどのように促進していくのか収集した情報を基に検討した。	民間の支援活動の促進につなげていくために、引き続き研究を行う必要がある。	
	空き店舗等を活用した展覧会などの開催支援		商工業振興G	文化創造G	空き店舗等活用支援事業補助金制度により、若者・女性の創業を積極的に支援するとともに、さらに創業しやすい環境づくりに向け、創業体験ができる取り組みも併せて検討する。	商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上につなげるとともに、創業セミナーの開催や補助制度の活用により、若者・女性の創業支援を積極的に行った。また、創業体験できる取組については、先進地視察も行き、検討した。	創業セミナーや資金繰りなどの支援に加え、チャレンジできる環境整備について、研究を進めていく必要がある。
			文化創造G	商工業振興G	空き店舗等を活用した取り組みを行う催しを支援する必要がある。	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、空家での展示を予定していた亀山トリエンナーレ2021は翌年度に延期となった。	延期となった現代アートの祭典である亀山トリエンナーレ2022の支援をする必要がある。

(9) 文化と産業経済の融合

施策項目	施策の内容	担当G	関連部署・ 関連団体	令和3年度の計画 (具体的な取り組み内容)	(1) 令和3年度の実績	(2) 今後の課題
③まちづくり観光の推進	まちづくり観光のマネジメントの推進	観光・地域ブランドG	亀山市観光協会 亀山商工会議所	各HPの整理を行う。またモデルコース設定にも努める	市HPを随時更新し、亀山市観光協会及び亀山商工会議所など関係する団体のHPを更新するよう働きかけ、連携して適切な情報を発信できるよう努めた。また、モデルコースを設定することができた。	引き続き適切な情報発信ができるように各HPの整理を行うことが必要である。
	JR亀山駅を中心とした「鉄道のまち亀山」の発信と、それらの歴史や資産を生かしたまちづくりの推進	亀山駅前整備G	亀山駅周辺まちづくり協議会	亀山駅周辺整備事業として、組合等に対して所定の補助金の交付や駅前広場、都市計画道路等の工事に取り組むことで、事業の推進を図る。また、亀山駅周辺の一体的な整備に向け、周辺の道路整備や駐輪場等の整備を進めるとともに、具体的な整備計画の整理を進める。	亀山駅周辺整備事業として、組合等に対して補助金の交付した。また、駅前広場、都市計画道路等の整備を行うとともに負担金の交付を行った。亀山駅周辺の一体的な整備に向け、周辺の道路整備に向けた補償算定等の実施や駐輪場整備に伴う供用など、整備計画の整理に向けた現状調査等を行った。	令和4年10月の完成に向けて、円滑に事業進捗を図るため、組合と連携する必要がある。また、亀山駅周辺の1～4ブロックの一体的な整備に向け、2ブロック以外のブロックについて具体的な整備計画の整理を進める必要がある。今後も「鉄道のまち亀山」の発信に努める必要がある。